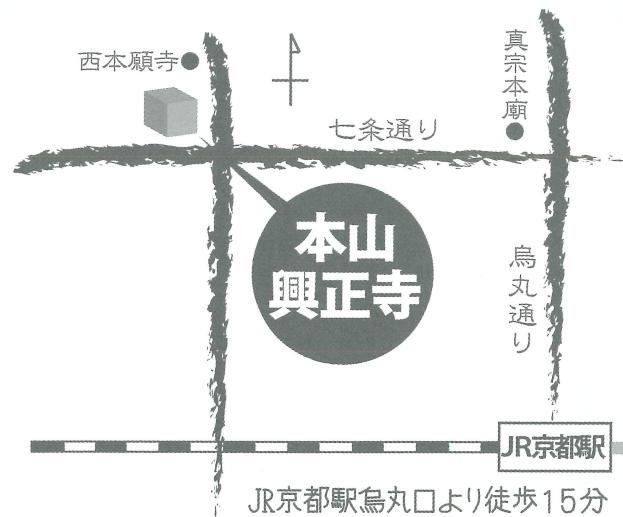


# 本山だより

「今こそお念佛ーつなごうふれあいの輪」

第56号  
令和元年  
9月

## アクセスマップ



真宗興正派本山興正寺全景

## 真宗興正派 本山興正寺

〒600-8261 京都市下京区堀川通七条上ル  
TEL 075-371-0075(代) FAX 075-371-8509

本山興正寺

検索

## 宗祖親鸞聖人 報恩講

令和元年  
11月21日(水)より  
11月28日(日)まで

昨年の大阪北部地震、台風の被害により御影堂への立ち入りができない状態がつづいております。本年の宗祖親鸞聖人報恩講も昨年に続き、全ての座を阿弥陀堂にて厳修いたします。ご参拝の皆様にはご不便をおかけします点、ご了承のほどお願いいたします。

午前八時	晨朝勤行	
午前十時	日中法要	
午後二時	逮夜法要	
午後四時	初夜勤行	

※十一月二十一日の日中法要と  
十一月二十八日の逮夜法要是  
りません。

 二十二～二十六日 河邊大文 (北海道・明了寺)	 二十七～二十八日 北岑大至 (福井県・淨信寺)	
-----------------------------------	-----------------------------------	--

## 令和2年 春の法要

4月22日(水)23日(木)

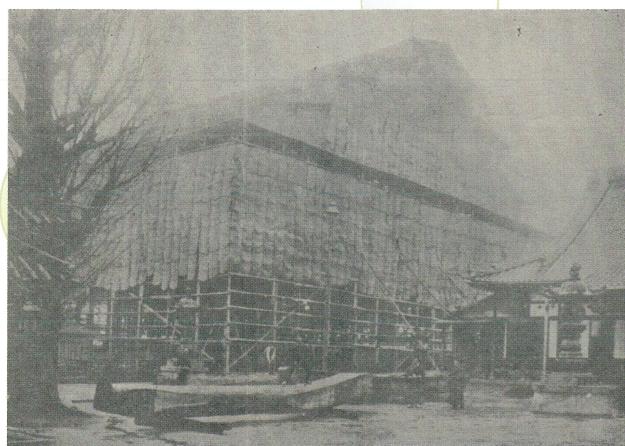
朝座10:30より 昼座14:00より  
全座 阿弥陀堂にて

# 喪失の悲しみを力に! —100有余年前の興正寺復興劇—

現在の興正寺御影堂、阿弥陀堂の建立物語。それは明治35年、江戸時代の興正寺の象徴であった「ひとつ御堂」の焼失から始まるものでした。計画から100年以上の歳月をかけて整備された大伽藍と多くの建造物、法寶物の焼失という絶望感は語るべくもありません。

すぐさま両堂再建の御消息が発布され、再建にとりかかりましたが、起工式当日できえ、社会の中では興正寺の前途を危ぶみ、再建は無理だという声さえありました。

しかし、当時の門信徒と僧侶の熱意は、それら声をかき消すほどのものでした。香川県の山間部では数千人が木材の運搬に従事、ここから切り出された材木は高松築港に開設された広大な建築分工場で加工され、水路京都に送られました。また徳島から多くのケヤキ材が送りこまれ、瓦は愛知県の門信徒から寄進されました。こうして多くの建材や寄付金が全国の門信徒から寄せられました。



素屋根に覆われた再建中の御影堂。手前には巨大な材木も見られる。

また、地築き作業には全国から入れ代わり立ち代わり門信徒が上山し作業にあたりました。その大勢の人による盛り上がりを見物にくる人たちも多く、興正寺の再建という出来事は現地京都だけでなく、地方においてもお祭り騒ぎの様相を見せました。

僧侶もまた全国を駆け巡りながら、布教活動に当たるとともに、寄進のお願いや建築状況の報告にあたりました。

「ひとつ御堂」の焼失という大きな逆境は、再建を目指す大きな力へと姿を変え、僧俗ともに力を合わせ、ついに明治45年に御影堂が、大正4年に阿弥陀堂が建立相なりました。



両堂完成を記念して御影堂の前で撮影された写真。

## 靈山本廟にも是非お参りください。



産寧(三年)坂の中間に位置し、自然の風光に恵まれた場所に親鸞聖人の廟所・靈山本廟はあります。

お問い合わせ

京都市東山区清閑寺靈山町4  
TEL075-561-0940(9時~16時)

# 教えて、テンマくん!



あれ  
阿弥陀  
様はどこに  
いつた  
んやろ?

過去帳がご本尊  
みたいになつて  
るわね。



ケオンちゃん

過去帳の陰にご本尊が隠れちゃつてんだね。仏壇の中心はやっぱり、ご本尊・阿弥陀様。礼拝する対象も、過去帳や遺影に対してではなくてあくまでも阿弥陀様だよ。



◆確認してみましょう◆  
過去帳や遺影で、  
ご本尊が隠れて  
いませんか?